

大槌町国際理解教育事業

【 概要 】

平成 9 年 10 月 5 日、大槌町で開催された「第 17 回全国豊かな海づくり大会」の前年に、大槌町の名産でもある「鮭」の消費拡大を意図した「三陸海風土（シーフード）フェア」を開催し、全国の鮭料理を紹介しました。その際に、太平洋を挟んで大槌町と同じ緯度（北緯 39 度 20 分前後）に位置し、「鮭」が大事な資源であり、市の花が「つつじ科」という大槌町との共通点から、米国カリフォルニア州メンドシーノ郡フォート・ブラッグ市の紹介コーナーを設け、翌年の「第 17 回全国豊かな海づくり大会」に、フォート・ブラッグ市長を招待したことから交流が始まりました。

平成 13 年度に大槌町国際交流協会が発足されてから、生徒間交流事業が始まり、平成 17 年 10 月 15 日、大槌町において「姉妹都市締結」されました。東日本大震災津波により、平成 23 年度から平成 25 年度までは生徒間交流事業が一時中止されましたが、平成 26 年度から交流が再開しております。